

# 報告と対話のつどい

開始までしばらくお待ちください。  
今回はFacebookでライブ配信もします。

2021年12月26日

14時～15時30分

福岡県古賀市議

ぬま健司



FBぬまけんじ

トピックス

12月23日発表

## JR 駅の営業体制見直し

みどりの  
窓口

千鳥駅、ししぶ駅で廃止  
古賀駅で時間短縮（7時30分～19時）

改札対応

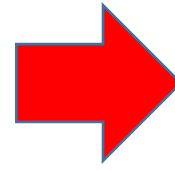
千鳥駅（7時30分～21時）、ししぶ駅  
（7時30分～19時30分）で時間短縮

実施時期

3月12日から

まず、  
地域のできごと

# 花見小前にハンパ完成



## 効果の検証へ

通学路の安全確保  
減速と交通量減少

校区一体となった運動  
2年間で実現

2019年8月  
花見校区でハンパ実証実験要望書

2020年9月  
国道事務所の協力で実証実験を実施

2021年8月～9月  
花見小通学路2か所にハンパ設置完了



# 千鳥駅東口整備 2021年度に用地取得 2022年度以降に工事实施



12月3日撮影

## 千鳥駅東口整備の第一歩

古賀市土地開発公社が土地の先行取得

6月15日の本会議・大綱質疑で判明

予算額	1億8675万円
取得する面積	約2074㎡
設計内容	2014年度に実施した設計内容を精査し追加設計が必要か検討
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅前広場として、バス停やタクシープールなどを配置予定</li> <li>● 駅前広場への接続道路である市道浜山1号線の歩道整備を含めた改良を予定</li> <li>▼ 付近の踏切の拡幅は予定していない</li> </ul>
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度に開発公社で先行取得 国庫補助事業対象とする要望</li> <li>● 2022年度以降に用地の買戻しや整備工事を実施予定</li> </ul>

千鳥駅東口の  
開発予定地

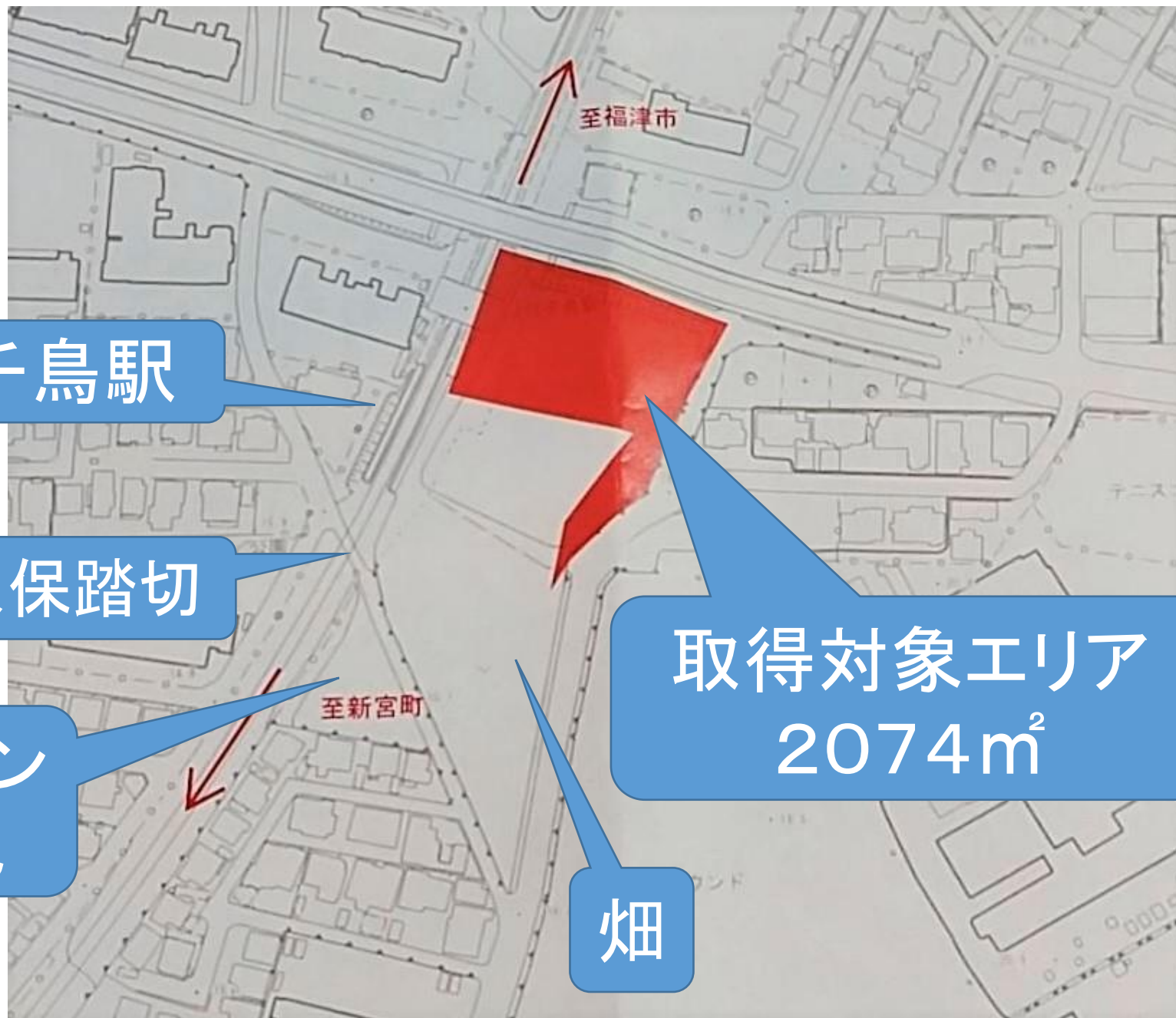
千鳥駅

久保踏切

マンション  
予定地

取得対象エリア  
2074m<sup>2</sup>

畑



# 古賀市でもオンデマンドバスの実証運行

路線バス赤字補てん、  
5千万円超す！



宗像市のオンデマンドバスに  
乗ってきました。

ダイヤも運行ルートもない  
アプリや電話で予約・呼び出し  
最短距離で目的地へ

花鶴丘と日吉台で  
2022年10月から実証運行

車両3台を購入  
補正予算で1710万円を決定

地球温暖化対策  
議会が政策提言



# 政策推進会議の役割

## 議員全員で 政策立案を推進します

### 議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

議員間  
共通認識

合意形成

政策立案

市長提言  
政策条例

# 政策推進会議の実績

議会  
災害対応

2015年1月

議会災害対応要綱

災害時議員  
行動マニュアル

地域  
公共交通

2017年2月

公共交通体系  
確立に向けた提言

※バス乗車調査  
※市民アンケート

地域  
防災

2018年6月

地域防災提言

※防災基本条例の  
早期制定  
※発災後72時間の  
行動パターン

気候  
変動

2019年10月以降

地球温暖化  
対策

議会として  
市長に政策提言  
2021年11月25日



田辺市長、本会議で  
ゼロカーボンシティ宣言  
2021年11月30日

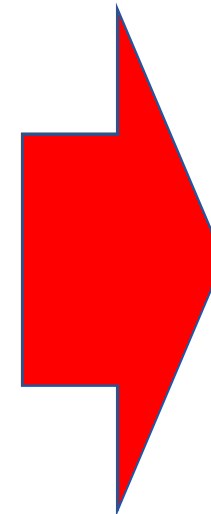


# 地球温暖化 対策

## 2050年までにCO2実質排出ゼロ 田辺市長、ゼロカーボンシティ宣言 2021年11月30日

### 2年間の研修・議論を経て政策提言 2021年11月25日

- ①ゼロカーボンシティ宣言を行うなど市としての姿勢や目標を明らかにすること
- ②4R運動推進や公共交通利用促進など市民の行動変容を促す周知・啓発に取り組むこと
- ③山、川、海とつながる特徴を踏まえ、プラスチックごみ削減運動を広げること
- ④公共施設をはじめ太陽光・蓄電池設置など再生可能エネルギーの導入を促進すること
- ⑤異常気象が引き起こす熱中症、土砂災害、暴風雨などに対する備えを促進すること



#### 古賀市ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざして～

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響によって、世界各地では、大規模災害が多発しており、我が国においてもこれまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑等による甚大な被害が毎年のように発生し、古賀市においてもその影響を受けています。私たちは、この世界の危機的状況を認識し、地球温暖化を緊急課題として位置付け、日々の暮らしの中でできることを考え、行動し、その対策に積極的に取り組まなければなりません。

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されました。また、2021年の国連の気候変動枠組条約第26回締約国会議においては、「パリ協定が掲げる、世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求する」とした成果文書が採択されました。

本市の緑豊かな山々や白砂青松の美しい海岸線を有する海、さらにこの海に注ぐ大根川などをはじめとする豊かな自然を守り、誰もが安心して暮らせる持続可能で豊かな環境を次世代につないでいくため、そして、未来の地球のために、『2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ』の実現をめざすことをここに宣言します。

令和3年11月30日

古賀市長 田辺一城

# 12月定例議会の 主なテーマ

全部署・全職員の  
議論

コロナ経験  
市民意識の反映

# 総合計画

目的

将来像

大綱

市民参画  
ワークショップ

10年先の  
明確なビジョン

古賀市・パターン別将来推計人口  
「第2期古賀市人口ビジョン」(2020年3月)

10年後の古賀市の人口  
想定人口6万人とするなら...

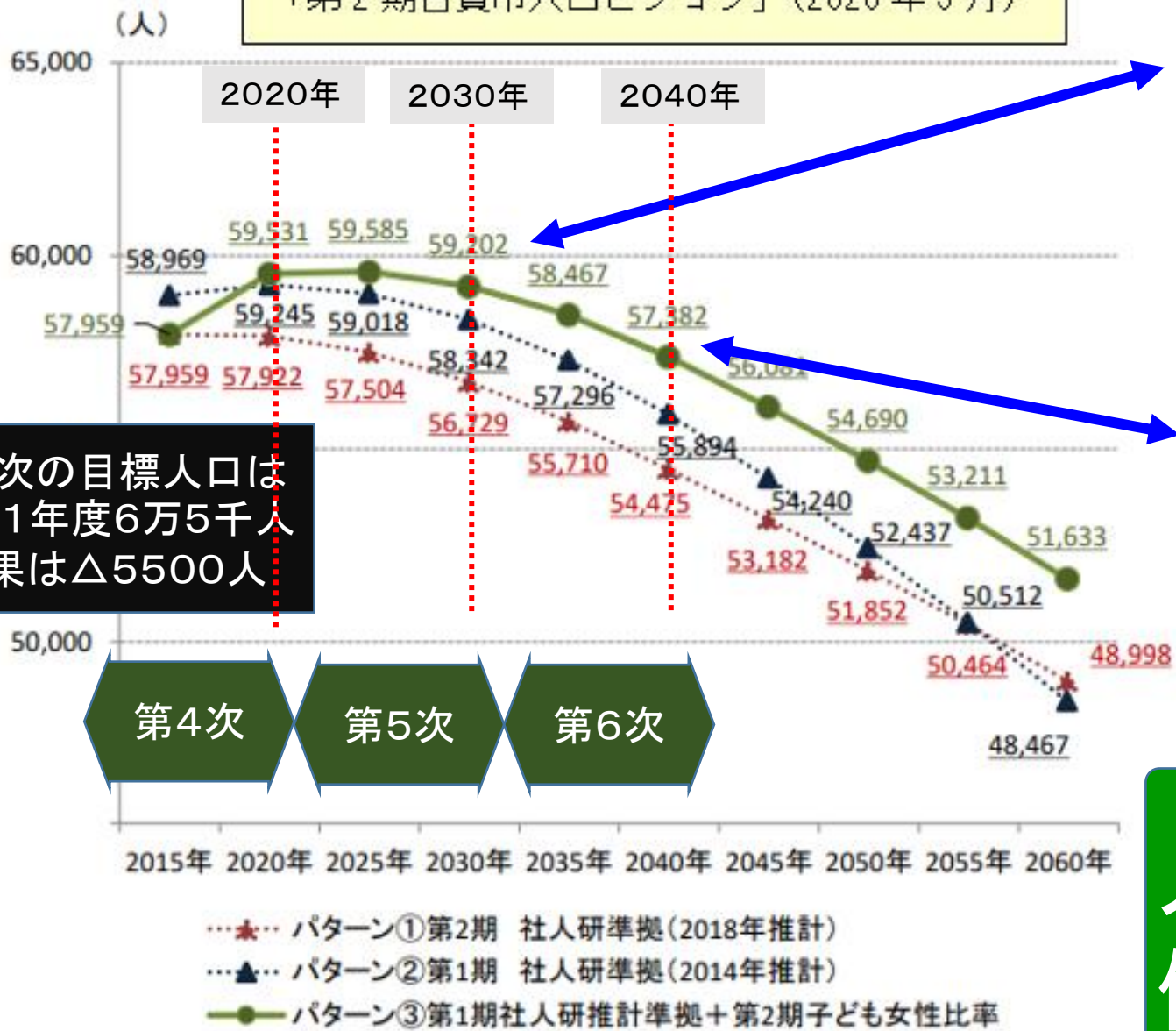
10年後の推計人口との差は  
約1000人から約3300人  
この差をどう埋めるのか？

10年後の古賀市の人口  
想定人口6万人とするなら...

20年後の推計人口との差は  
約2700人から約5600人  
この差をどう埋めるのか？

第4次の目標人口は  
2021年度6万5千人  
結果は△5500人

人口減少を前提にした  
備えが必要ではないか



田辺市長が議会に提出した10年後の都市イメージや想定人口  
皆さんはどう思いますか？

## 第1章 都市イメージ・基本目標・基本構想の推進のための指針

### － 都市イメージ －

# ひと育つ こが育つ

人がまちを支え まちが産業を支え 産業が人を支え

みんなが育つ

未来に向かって育ち続けるまち

## 第2章 まちづくりの方向性

### 1 基本指標

#### まちづくり指標（主観指標）

令和元（2019）年度に実施した「まちづくりに関する市民アンケート調査」の結果をもとに、「住みよさ指標」「定住指標」の2つの指標を設定します。

#### 住みよさ指標

古賀市は住みやすいと感じる人の割合

**74.2%**（令和元（2019）年度） → **上昇**（令和13（2031）年度）

※アンケート設問内容

現在の古賀市の「住みやすさ」についてどう感じですか？  
（「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計）

#### 定住指標

今後も古賀市に住み続けたいと考える人の割合

**59.7%**（令和元（2019）年度） → **上昇**（令和13（2031）年度）

※アンケート設問内容

あなたはこれからも古賀市に住み続けたいと思いますか？  
（「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移りたい」の合計）

#### 想定人口（客観指標）

本市の人口は、近年緩やかな増加傾向が続いており、令和2（2020）年9月末現在の人口は59,694人とほぼ6万人規模に達していますが、第2期古賀市人口ビジョンでは、令和7（2025）年をピークに減少に転じ、その後は緩やかに減少していくと予測しています。

国全体において人口減少・高齢化が進展する中、本市が、将来的な人口減少社会における課題に立ち向かい、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくためには、子育て世代にとって魅力的なまちづくりや、企業立地による税収の確保と雇用の創出、既存ストックを有効活用した計画的・効率的な人口集積などの施策を推進し、現在の人口規模を可能な限り維持することが望ましいことから、想定する人口規模を6万人とします。

**想定する人口規模 60,000人**



# 第5次 総合計画



## 議会の審議期間

9月16日～11月24日

全体会・分科会 18回

11月30日の本会議で

討論・採決

反対1、賛成17で可決

## 第5次基本構想に対する6点の提言 2021年11月30日

- ①議会からの意見、提言については最大限尊重
- ②中長期的見通しに基づく効率的、効果的な財政運営
- ③「まちづくり指標」は中間年次に検証を行うこと。アクションプランの「指標」の検証結果も毎年度公表すること
- ④「想定人口」、人口の推移を把握し、福岡市近郊という特性を生かし、社会増をめざした効果的対策を講じること
- ⑤「平和」堅持と「人権」尊重は常に意識し取り組むこと
- ⑥地域や自治会、行政区、校区コミュニティの活動がさらに活性化するように支援すること。

第5次  
総合計画

# 第5次基本構想に対する討論

## 2021年11月30日

S D G s の関連付け、具体化を指摘



森本義征議員  
基本構想に対して討論  
(11月30日の本会議)

# 第5次 総合計画

第82号議案



奴間健司

基本構想に対して討論  
(11月30日の本会議)

## 第5次基本構想に対する討論 2021年11月30日

- ① 質疑記録は公文書。市民と共に提言を具体化する責任
- ② 将来を創造するのは計画書ではなく次世代を担う若者
- ③ 職員の力が発揮されるのはこれから。政策展開を期待。
- ④ 成果指標は毎年度市民評価を受け公表すること
- ⑤ アクションプランの検証は残された課題
- ⑥ 市民の声を把握し提案を出すくらいの議会力が必要
- ⑦ 基本構想限定ではなく総合計画策定に関する条例が必要
- ⑧ 市民との対話で最善策をめざす市政運営が必要
- ⑨ 第5次総合計画策定は終わりではない。
- ⑩ 今後10年も検証し続ける



# 3回目ワクチン、オンデマンドバス、 体成分分析装置等の補正予算

薬王寺  
インキュベーション  
見込みの甘さを  
指摘

## 第88号議案・一般会計補正予算(第6号)に対する討論 (2021年12月15日)

全体的特徴	補正総額	5億9494万8千円の増額補正
	歳出	民生費が4億4817万3千円、総務費が4266万9千円 民生費の中の障がい者福祉費が2億1110万9千円
	歳入	民生費国庫負担金の9828万4千円、臨時財政対策債の3億5700万9千円 が大きな割合
個別事業	3回目の コロナワクチン接種	債務負担行為補正と1570万6千円 <b>&lt;指摘事項&gt;</b> ①ワクチン接種予約における混乱を最大限回避すること、②医療従事者の先行接種は1月下旬までに終了すること、③ワクチン接種の間隔を可能な限り前倒しし第6波、オミクロン株への対応に万全を尽くすこと
	AI オンデマンドバス	車両購入費1710万円 (3台)・・・ <b>新たな移動手段として期待</b> <b>&lt;指摘事項&gt;</b> ①地域住民の声を十分把握し、乗ってもらい、くらしに役立つオンデマンドバス運行をめざすこと、②中長期的にオンデマンドバスの運行を定着・拡大し路線バスの赤字補てんを削減すること
	体成分分析装置	購入費433万4千円 (4台)・・・ <b>生活習慣病予防に効果が期待</b> <b>&lt;指摘事項&gt;</b> ①補正正可決後速やかに購入し活用開始すること、②出前講座、特定保健指導、イベントに加えサンコスモやリーパスプラザで気軽に必要な時に測定できる機会を保障すること
行財政運営	薬王寺 インキュベーション	●管理運営費 当初予算1969万円→契約金額2689万円 (PR媒体作成委託と一括発注、予算流用で対応し補正に上らず) ●5年間の市負担見込み 3月時点2259万8700円→契約時点7792万円 <b>&lt;指摘事項&gt;</b> ①数字を厳しくチェックしないと変更点を発見できない、聞かないと実態が分からない現状②財政負担の見通しの甘さ判明③行財政運営において、透明性を高めること、すすんで説明責任を果たすこと

# ワクチン接種・古賀市の状況

12月1日時点

	全対象者 12歳以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代
1回 接種済	86%	75%	76%	78%	85%	88%	92%
2回 接種済	85%	73%	74%	77%	84%	87%	92%

全国と同じ計  
算方法では  
75%

	全国	福岡県
1回 接種済	79.2%	77.9%
2回 接種済	77.8%	76.1%

- 3回目ワクチン接種の予定
- ①12月21日から、医療従事者
  - ②来年1月以降、高齢者の予定

12月23日時点

# 3回目ワクチン接種の体制

12月6日時点の説明

項目	概要
対象者	18歳以上で2回目接種から原則8か月以上経過した人
ワクチン種類	ファイザー社、モデルナ社のワクチン
接種期間	2022年9月30日まで
接種券発送、予約	2022年1月中旬頃から発送開始、インターネットか電話
予約設定希望	全て市に一任すると希望する場合は日時、場所を設定
接種開始	2022年1月末頃を予定。医療従事者は12月21日から
5歳～11歳	国が示す接種開始時期は2022年2月以降

# 3回目ワクチン接種 福岡市は前倒しで接種 「8か月後」を「7か月後」に

8:49 ナワクチン 来月から高齢者3回目接種開始へ  
福岡市 新型コロナワクチン

## 3回目接種を前倒し

医療従事者・入院患者 高齢者施設 入所者・スタッフ	2回目の <b>6か月後から</b>
福岡市50才以上	<b>7か月後から</b>

2回目接種から8か月が経過した！  
医療従事者の接種をすでに開始

8:49 ナワクチン 来月から高齢者3回目接種開始へ  
福岡市 新型コロナワクチン

福岡市役所  
高島市長

福岡市

## 3回目接種を前倒し

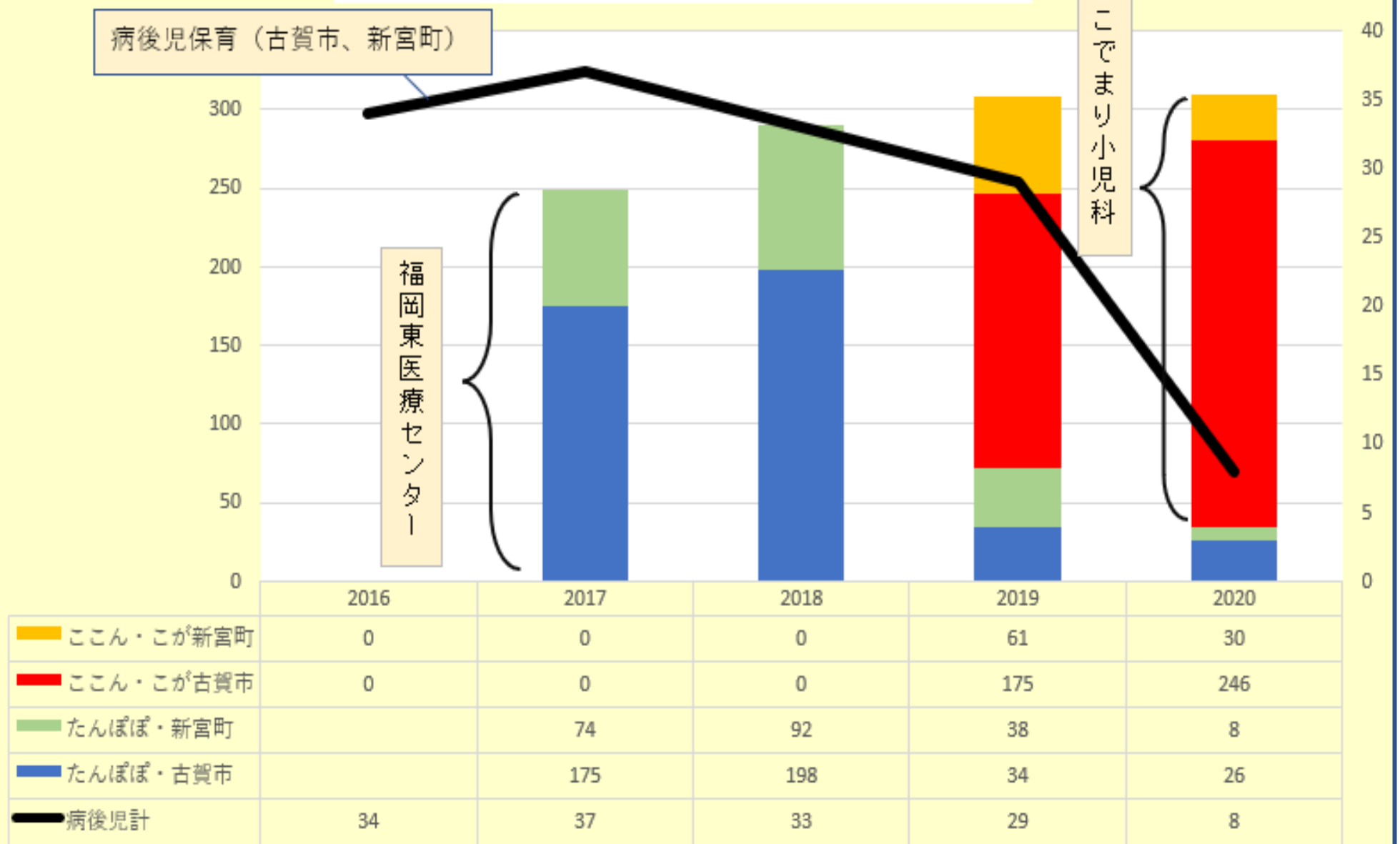
医療従事者・入院患者 高齢者施設 入所者・スタッフ	2回目の <b>6か月後から</b>
---------------------------------	-----------------------

オミクロン株が市中でも広がりつつあることから  
ワクチンをできるだけ前倒ししてほしいという声はある

暮らしを古賀市へ  
安心して  
子育て世代が

鹿部保育所内の病後児保育廃止  
病児保育のさらなる充実を提言

古賀市・新宮町の病後児、病児保育の利用推移





第3回臨時会



# 定例会閉会后2日目に臨時会 国に振り回された10万円給付

一般会計補正予算（今年度8回目）古賀市も現金10万円一括支給へ  
12月17日の臨時会で質疑、討論、採決（賛成全員で可決）

事業	補正予算額	内容
子育て世帯経済的支援事業	5億1737万1千円 (3款民生費)	●印刷製本費 7万円 ●通信運搬費 30万1千円 ●子育て世帯への臨時特別給付金 5億1700万円
財源	5億1737万1千円	●100%国の補助（民生費国庫補助金）
対象者数	488万9千円 (4款衛生費)	①2021年9月分の児童手当支給対象児童（中学生まで） 5万円×8,300人 ②2021年9月30日時点で高校生の児童 5万円×2,800人 ③2022年3月31日までに生まれた児童手当支給対象児童（新生児） 5万円×240人
支給予定		(1) 2021年9月分の児童手当を受給した者 2021年12月24日支給予定（申請不要） (2) (1)以外の者 2022年1月以降支給予定（要申請）
備考		①高校生、保護者が公務員の場合は申請必要。様式はまだ決まっていない。 私は必要書類を早急に作成・送付することを要求しました。 ②補正予算可決後、対象者に通知送付。その中で意思を改めて確認。 私はその意思確認は不要と指摘しました。

18歳以下

10万円一括支給

12月24日振込

高校生、公務員は  
来年1月以降

千鳥苑  
市民体育館  
「移転・廃止」

# 公共施設等総合管理計画【第1期アクションプラン】(案)

2060年までの40年間に総延べ床面積を約2割圧縮  
コスト面では約54億7千万円の削減

2017年3月策定

第1期アクションプラン: 2021年度～2030年度

2021年8月提案

施設名	面積 m <sup>2</sup>	機能	建物	備考
市民体育館	1175	移転	廃止を含め検討	計画期間内に、 関係団体と協議を行い、 施設の方向性について 明らかにする
クロスパルこが	7242	維持	複合化を検討	
米多比児童館	433	移転	廃止を検討	
あすなろ教室	66	移転	廃止を検討	
市民活動センター	45	移転	廃止を検討	
千鳥苑		移転	廃止を含め検討	2022年度に築45年
学童保育所		維持	維持修繕	余裕教室への機能移転を検討

# 公共施設等総合管理計画 施設カルテ

## 施設カルテ

施設名: <b>社会福祉センター(千鳥苑)</b>	学校区
	千鳥小学校区

1 施設の概要	財産番号	51	所在地	千鳥3丁目3-1		
所管課	福祉課	施設の用途	保健・福祉施設			
設置目的	市民の社会福祉の充実、健康の保持増進及び教養の向上に資するため					
根拠条例	古賀市社会福祉センター条例					
建設費	170,000,000	円	補助金	国県補助	補助金額	109,515,000 円
土地	敷地面積	16,979.00	m <sup>2</sup>	所有区分		

1次判定	施設性能	施設活用度
②	1.83	2.15

1次判定	判定① 建物性能・活用度ともに標準以上の施設	: 維持保全しながら継続使用
	判定② 建物性能は劣るが活用度が高い施設	: 性能が劣る部分の改修を検討
	判定③ 建物性能・活用度ともに標準以下の施設	: 施設の必要性、在り方の見直し
	判定④ 建物性能は優れているが活用度が低い施設	: 施設用途の変更を検討

建物	名称		構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年月日	新耐震基準	老朽化状況	耐震化状況	バリアフリー状況	避難所指定
		福祉集会所		鉄筋コンクリート	1		1,222.00	昭和53年3月1日	×	老朽化が進行している	対応済み	一部対応
	管理人室		鉄筋コンクリート	1		9.00	平成6年1月1日	○	老朽化対策の検討が必要	—	未対応	×
	台所		鉄筋コンクリート	1		9.00	平成9年8月1日	○	老朽化対策の検討が必要	—	未対応	×
	車庫及び便所		鉄骨造	1		109.00	昭和53年12月1日	×	老朽化が進行している	義務付けなし		×
	車庫		鉄骨造	1		31.00	平成7年3月1日	○	老朽化対策の検討が必要	—		×
	管理人室		木造	1		67.00	平成7年10月1日	○	老朽化が進行している	—	未対応	×
	ゲートボール場		鉄骨造	1		799.00	平成3年3月1日	○	老朽化が進行している	—		×
	ゲートボール場		鉄骨造	1		799.00	平成4年3月1日	○	老朽化が進行している	—		×
	福祉集会所		鉄筋コンクリート	1		99.00	平成12年10月1日	○	問題なし	—	全対応	×

# 公共施設等総合管理計画 第1期アクションプラン・千鳥苑の方針 市長の答弁(11月18日)

## 第5次古賀市基本構想(案)に対する市長質疑

### 市民体育館、千鳥苑の「移転・廃止」(案)をどうするのか？

#### ぬま健司の総括質疑

基本構想案審議中に公共施設総合管理計画第1期アクションプランの内容が明らかになった。

総合計画が上位計画であるなら、その内容に応じて公共施設総合管理計画を練り直す必要が生じると思うがいかがか。

市民体育館や千鳥苑等の「移転・廃止」は固定的なものなのか。

#### 田辺市長の答弁

公共施設等総合管理計画は、既に基本構想案の主旨に沿ったものとなっている。

また、各施設の今後の在り方については、将来世代への負担を過大にしないためにも、計画に沿って進めていく予定としている。

「移転・廃止」  
決定機関は  
3役と部長

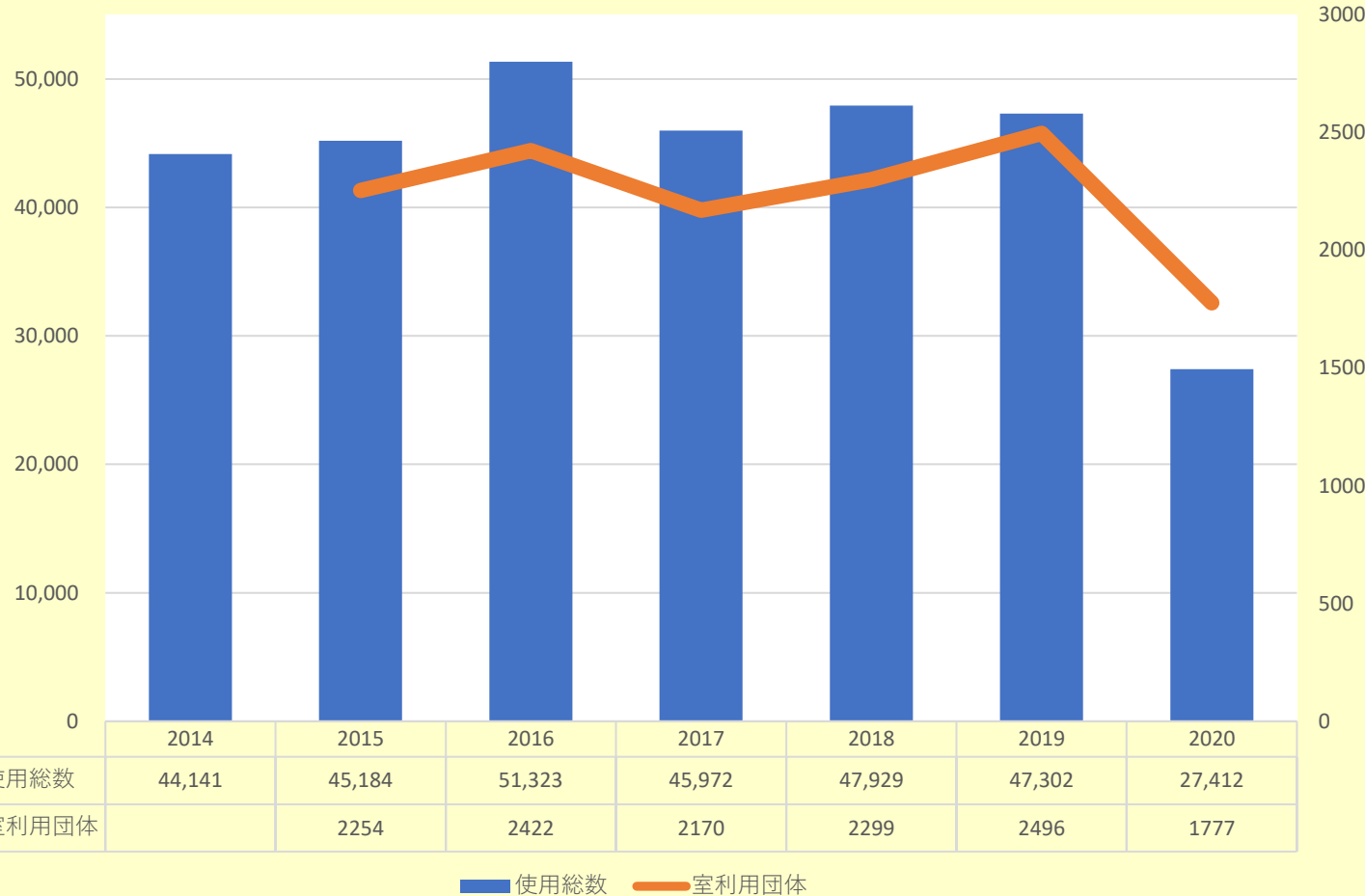
千鳥苑  
「移転・廃止」  
機能維持、  
既存組織へ移転  
1か所とは  
限らない  
移転先は  
これから検討

公共施設等総合管理計画 千鳥苑、市民体育館等の「移転・廃止」をめぐる一般質問の結果概要 (2021年12月13日・伊東よう子議員の一般質問)	
テーマ	答弁概要
公共施設等総合管理計画	2014年 総務省が計画策定を求める 2017年3月 古賀市公共施設等総合管理計画策定 2021年8月 第1期アクションプラン(案)
マネジメント体制	公共施設マネジメント推進本部(3役、部長) 公共施設マネジメント推進委員会(課長級) 所管課は管財課
利用者等対象の説明会	理念、方向性の理解を頂く場づくりは必要であり検討する(市長) 施設ごとの説明は各施設の所管課から説明(管財課長)
住民協働で見直しを	市民も参加した審議会、パブリックコメントも行った。 市民の声を聞き策定するが、この案でいかせていただきたい(総務部長)
千鳥苑について	機能を維持し、既存組織への移転を考えている。 高齢者の居場所を無くさない。 移転する場合、1か所とは限らない。分散も含め、現状と同等以上の機能を維持する。 要介護度が進まないようにする。(市長) 移転先はこれから協議し検討する。どこということではない。(総務部長) 公務員宿舍敷地への移転・新築の提案は受け止めるが、今後10年の中で検討し、まちづくり全体と連動して検討する。(市長)
市民体育館	需要に応じるサービス量総量を提供する。小中学校の体育館の利用も含め最終的にあり方を決定する。
米多比児童館	中高生が利用しやすい環境は必要。(青少年育成課長) 小学校区に児童館をとという提案は受け止めるが、財政的に、人的に最適か検討が必要。

説明会の場は必要であり検討  
12月26日・市民体育館  
1月21日・千鳥苑

# 年間4万5千人以上の利用者

千鳥苑・利用者総数と室利用団体数



高齢者の居場所

コミュニティの場

包括支援拠点

こどもの利用

送迎バスの活用

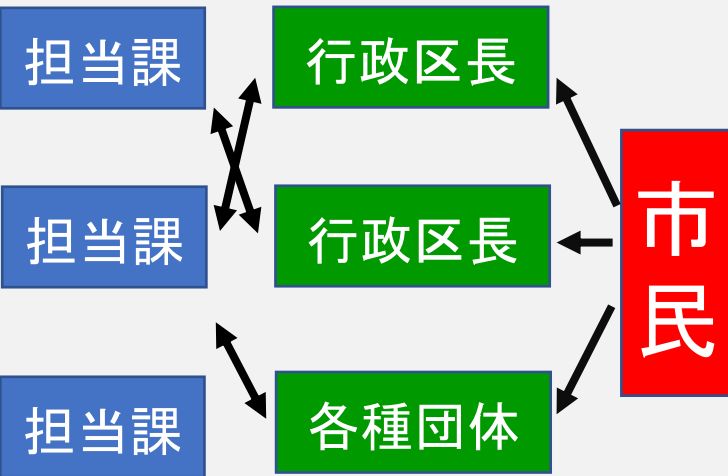
避難所の役割



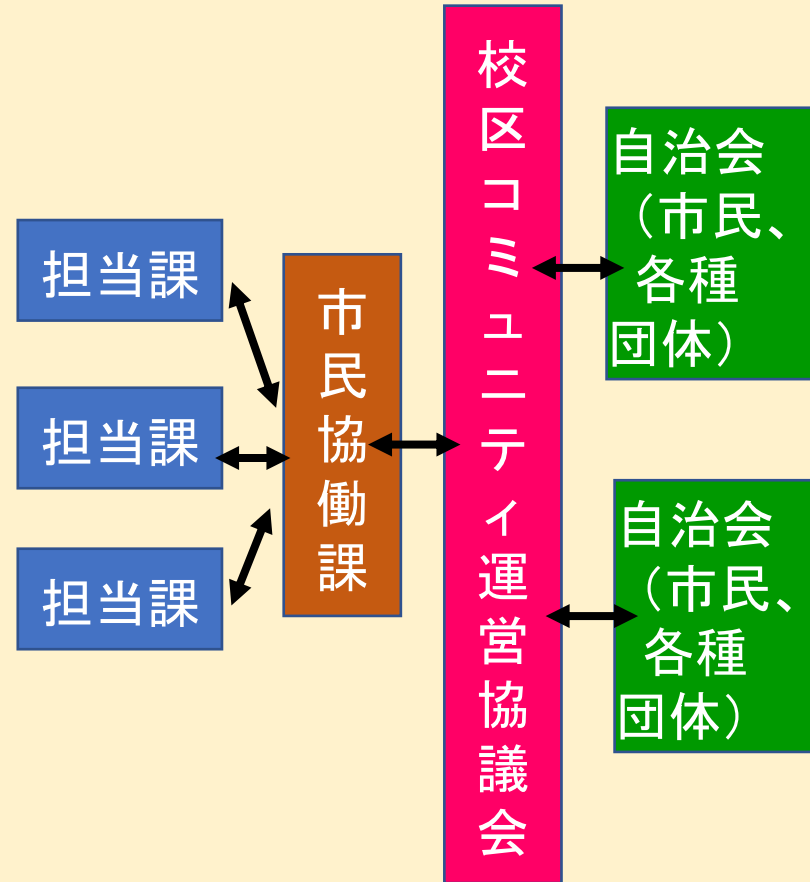
# 校区コミュニティ方針を大きく転換

これで地域コミュニティは維持できるか？

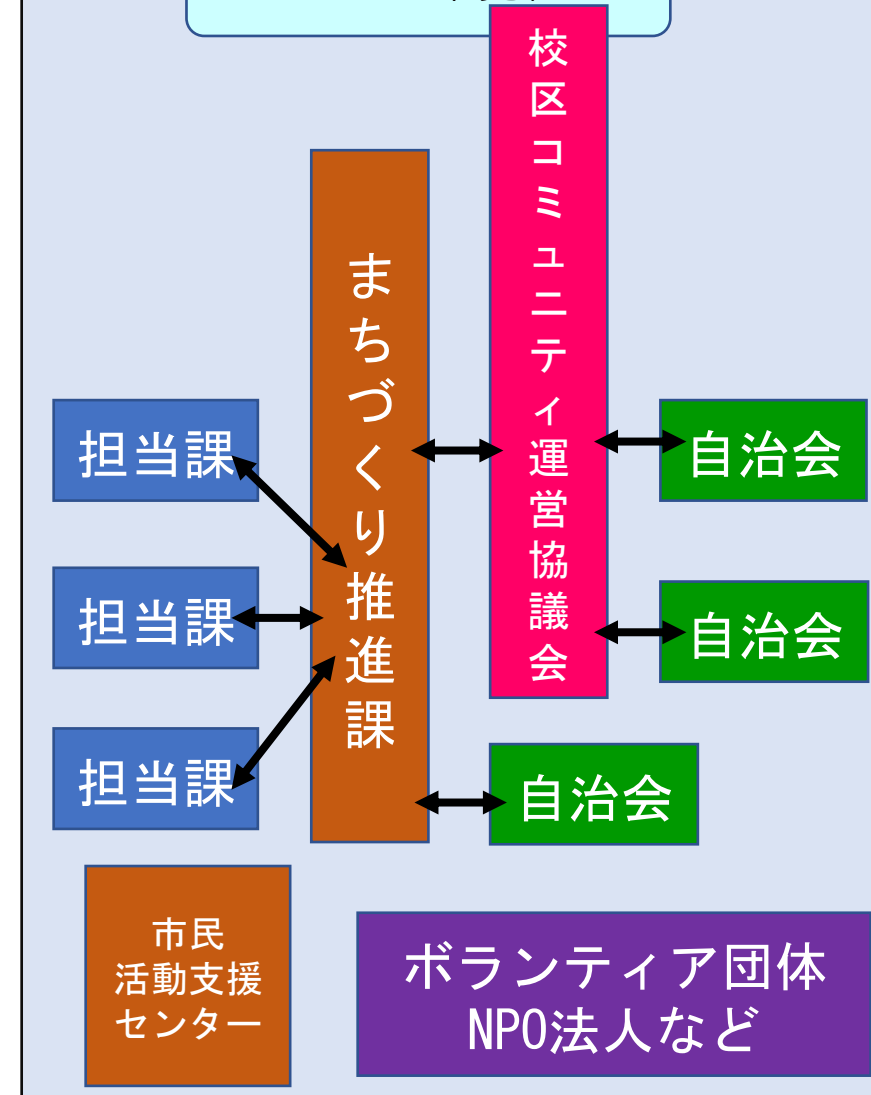
2005年以前



2005年「指針」以降



2021年見直し



校区コミュニティに集約しない  
その設置を求めない



# 薬王寺「快生館」 インキュベーション

経費名	金額	合計
1期工事	5000万円	2億6481万円
2期工事	3500万円	
開設準備費	4524万円	
管理運営委託（5年間）	1億2897万円	
借用料（4か月）	200万円	
（5年間）	1800万円	

# 薬王寺「快生館」料金メニュー

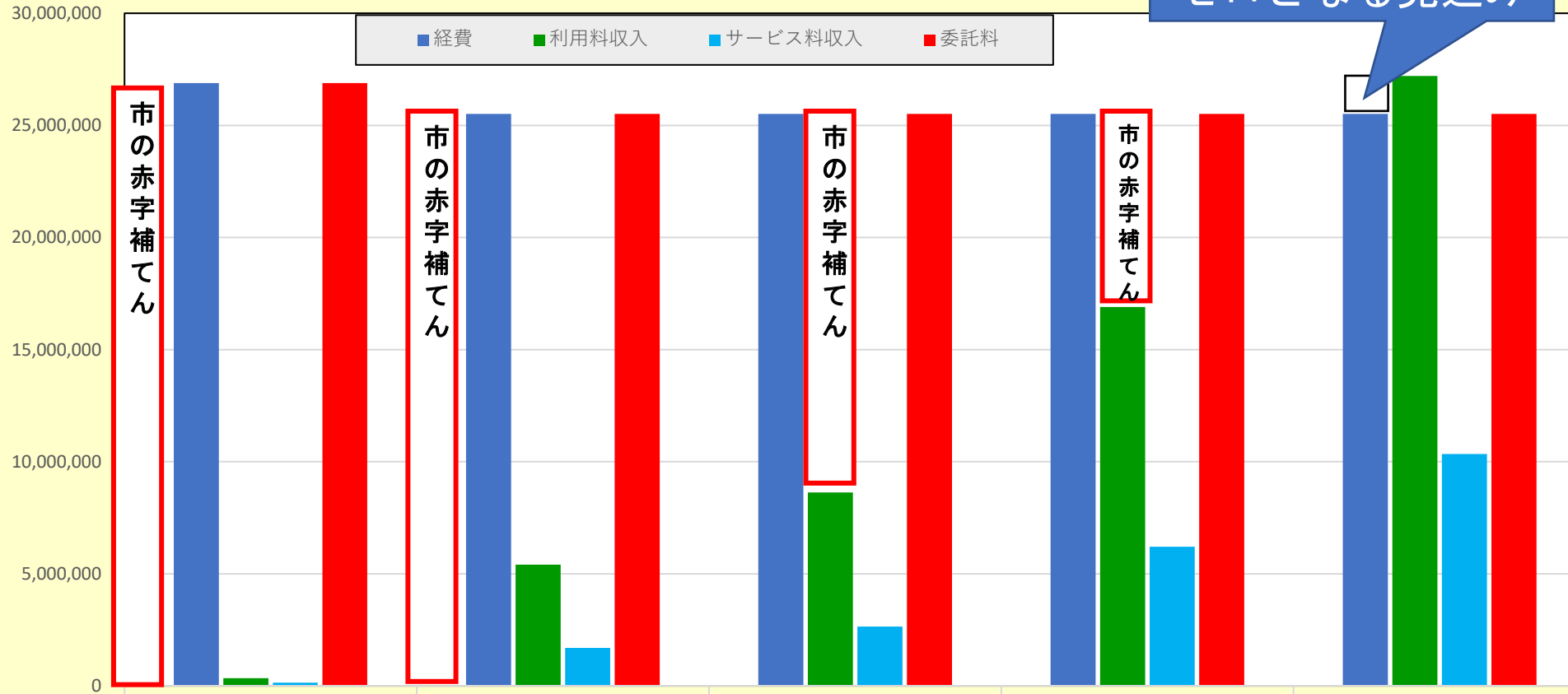
	商品	曜日	時間	料金(税込)
ワーク 利 用	フリーアドレス	月～土	9:00～20:00	17,600円/月
	オフィス	月～土	9:00～20:00	98,000円/月
		月～土	9:00～20:00	244,000円/月
	ドロップイン	月～土	9:00～18:00	2,200円/日
スペース 貸切利用	スペース利用	月～土	9:00～20:00	5,500円/時 ～

# 管理運営を(株)SALTと1億2897万円で契約（5年間） 新たな収支見込

## 薬王寺「快生館」インキュベーション収支見込（株）SALT作成）

2021年10月25日・総務委員会提出

5年目に委託料はゼロとなる見込み



■ 経費	26,890,000	25,520,000	25,520,000	25,520,000	25,520,000
■ 利用料収入	342,100	5,412,000	8,631,700	16,898,200	27,205,200
■ サービス料収入	137,500	1,695,100	2,642,200	6,206,200	10,338,900
■ 委託料	26,890,000	25,520,000	25,520,000	25,520,000	25,520,000

- 総務委員会で分かったこと（10月25日）
- ① 委託先は公募型プロポーザルで2社の中から選定
  - ② 3年日以降、委託料から利用料収入を差し引く
  - ③ 受託業者の収支見込によれば5年目から委託料はゼロ
  - ④ 5年間の古賀市の実質負担見込みは7792万円

# 12月定例会・ぬま健司の大綱質疑（2021年12月2日）

令和3年度古賀市一般会計補正予算（第6号）について

質疑

答弁

④薬王寺インキュベーションに関する補正が計上されていないので説明を求める。

ア) 3月定例会時点では、管理運営費についてインキュベーション促進委託（1969万円）の予算額以内を想定しているとの説明だった。しかし、今年9月1日に株式会社スマートデザインアソシエーション（後のSAL T）と契約した内容では2689万円と、説明より720万円増となっている。補正の必要はないのか、収支見込への影響はないか説明を求める。

イ) 3月議会でのインキュベーション促進委託、委託料試算では5年間の差引委託料、つまり市の実質負担試算は2259万8700円だった。しかし、9月1日に契約したSASLTの収支見込計算書では7792万円となった。その差は5532万1300円、3.4倍に膨らんだ。市長は、この差をどう説明するか。

ア) インキュベーション促進委託として1969万円、インキュベーション施設PR媒体作成委託として720万円を計上していたが、両業務を一括で発注することがより効果的であると判断し、予算を流用して対応している。（初年度の開設経費に含まれる）収支見込への影響はない。

イ) 事業者は、開始年度の見込みを厳しく見ている。この事業の目的である交流人口の増加や新たなビジネス創出からこの見込みを適切と判断し契約した。

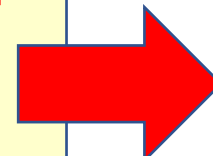
## 収支見込の大きな差

市の赤字補てん額見込みが3.4倍

3月時点 2259万8700円



9月時点 7792万円



市長は、「この見込みを適切と判断し契約した」と答弁。見通しの甘さが明らかになった。

私が  
今後10年間に  
実現したいこと

# 地域支え合いセンター構想

まちづくり推進課

サンコスモ

教育委員会

地域包括支援  
センター

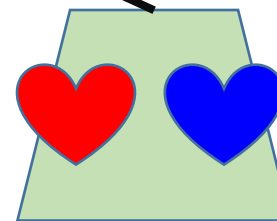
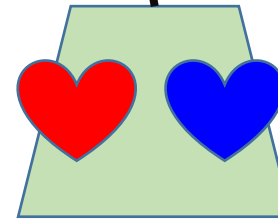
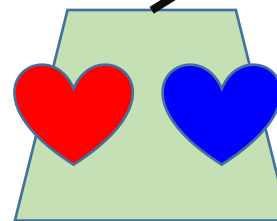
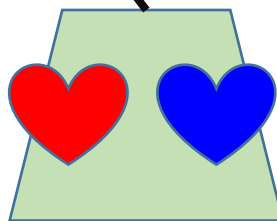
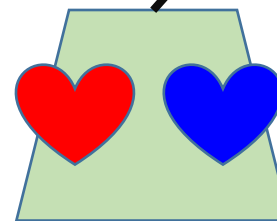
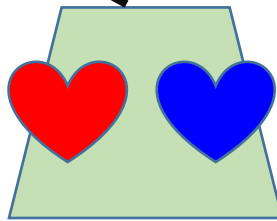
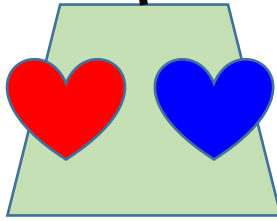
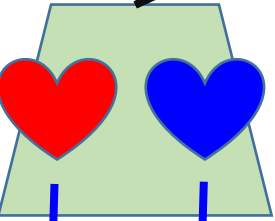
地域包括支援  
センター

地域包括支援  
センター

CSW

コミュニティソーシャルワーカー

CSW



地区担当保健師

地域推進員

地域包括ケア会議

自治会、コミュニティ、健康づくり推進員、食生活改善推進員  
医療、介護、福祉、子育て、コミュニティソーシャルワーカー

公民館

公民館

公民館

公民館



妊娠  
胎児期

0歳

3歳

6歳

12歳

18歳

20歳

40歳

65歳

75歳

妊婦健康診査

こんにちは赤ちゃん訪問

赤ちゃん健診

乳幼児健診

学校健診

血液検査

若者健診

特定健診

後期高齢者健診

小中学生、若者の特定健診を

# HbA1c測定

183人

基準値 5.5以下

123人 (67.2%)

基準値超え 5.6~5.9

57人 (31.1%)

糖尿病疑い 6.0~6.4

3人 (1.6%)

実施率  
47.2%

低出生  
10.5%

家族歴有り  
31.6%

やせ

0%

普通

84.2%

軽度肥満

8.8%

中等度肥満

5.3%

高度肥満

1.8%

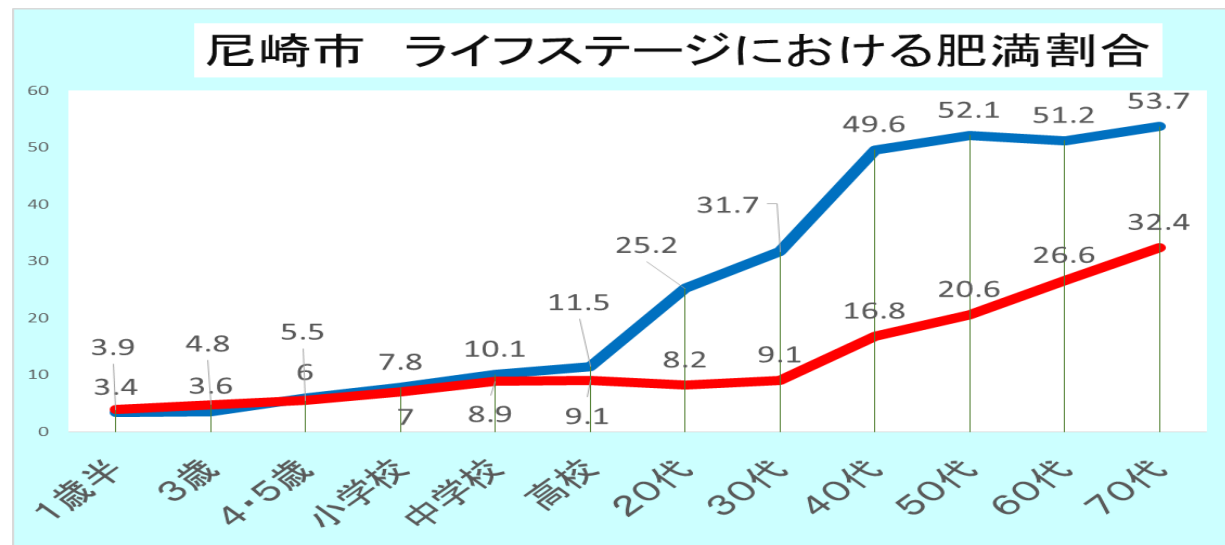


# 尼崎市 子ども特定健診(11歳、14歳)の実績

順位	有所見内容	有所見率
1位	HbA1c	30%
2位	中性脂肪	19%
3位	尿酸	18%
4位	血圧	12%
5位	肥満	12%
6位	GPT	7%
7位	LDLコレステロール	2%
8位	HDLコレステロール	1%

2018年度・11歳のデータ

		総数	リスク 3個以上	
11 歳	肥満	192	40	20.8%
	肥満なし	1361	38	2.8%



# 会派・友和(ゆうわ)

1月30日の午後3時  
リーパスプラザ  
大会議室で  
報告と対話のつどい

ぜひお越しください！

## 2022年の新春企画

### 「報告と対話のつどい」(会派・友和主催)

新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって良い年となるよう祈念しています。さて、会派・友和は下記の通り「つどい」を開催します。今回は2部形式です。市政と議会の最新情報を報告するとともに、皆様のご意見をお聞きしたいと願っています。お気軽にお越しください。

と き：1月30日(日)

と ころ：リーパスプラザこが・大会議室

内 容：

●第1部 午後3時～午後4時15分

第5次基本構想の議決結果など12月定例会の報告、3回目のコロナワクチン接種、AI オンデマンドバス、薬王寺インキュベーションなど。

●第2部 午後4時30分～午後5時30分

古賀駅東口開発計画の現状と課題について



森本義征  
議会選出監査



清原哲史  
総務委員長



奴間健司  
議運委員長